

LPA (ライフプランアドバイザー)のみなさんに聞きました



子どもに伝えたいお金のこと

- 親が労働の対価として稼いだものであって、ATMから無限に出てくるものではありません。
- お金は有限です。だからこそ、管理や貯金がとても大切です。
- お金があれば幸せ、とは限りません。
- 👉 「愛情」や「感謝」の気持ちなど、お金では買えない大切なものがあります。
- お金は使い方次第で、人生を豊かにしたり、社会に影響を及ぼす力があります。

おこづかいで金銭教育をするポイント

- 決まった期間に定額を渡し、子どもに管理してもらいましょう。
- お金は「必要なもの」と「欲しいもの」の違いを考えながら使いましょう。
- ご褒美(お手伝いやテストで100点など)としておこづかいを渡す時は要注意です。
- 👉 お手伝いは「家族の一員としての役目を果たしたから」ということを伝えましょう。勉強は自分のためにするものです。
- おこづかい帳などを利用して、親子でお金の使い方を振り返りましょう。

「おこづかいゲーム」



遊んで身につく!お金の感覚 Newおこづかいゲームブック
著:羽田野博子 出版社:アスキー
LPAの会では、「遊んで身につく!お金の感覚 Newおこづかいゲームブック」を使っておこづかいゲームをすすめています。

親子で考えるきっかけに!

早い時期に正しいお金の管理能力を身に付けることは、子ども達の将来にとって大切ですが学校では教えてくれません。親子でお金について話し合うきっかけに、おこづかいゲームはピッタリです。

小学生を対象に4~5人で行うすごろくゲーム。

ルール

- 1 おこづかい2000円をもらってスタート!
- 2 順番にサイコロを振って、出た目の数だけ進もう。止まったマスのカードを引いてね。
- 3 お金のやりとりをしたらおこづかい帳への記入を忘れずに!

ゴール

誰かひとりかゴールしたらおわり。お金について勉強できたかな?

ニーズカード … 必要なもの(文房具、日用品など)を買おう。
ウォンツカード … 欲しいもの(お菓子、おもちゃなど)を買うかどうか、よく考えて決めよう。
チャンスカード … お手伝いや貯金をしよう。

貯金額やゴールの早さではなく、お金をどれだけ上手に使えるかが大切です。ゲームを通してお金を使う難しさや貯金の意味、お金を得る苦労などを体験しましょう。

LPAの会って??

社会保障や税金、相続など、暮らしのお金について勉強した組合員さんが、組合員同士の学び合いを目的に学習会の開催などの活動をしています。

お問い合わせ先

コープぎふ LPAの会事務局
TEL:058-370-6713 月~金曜日 9時~17時



「おこづかいゲーム」やってみませんか?

ゲームを楽しみながら、親子で一緒にお金について学びませんか。親子が3組以上集まれば出張します。子ども会や母親学級の取り組みにぜひご活用ください。詳しくはLPAの会事務局までお問い合わせください。

組合員さんに聞きました

Q. 子どもにおこづかいを渡している?

渡している 58%

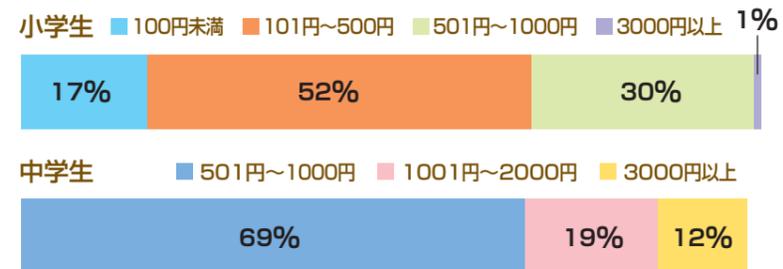
渡していない 42%

- お金の使い方の勉強のため。おこづかい帳を書くことで字の練習と算数の勉強にもなります。(恵那市 なまけものさん)
- お金を管理する力をつけてほしいので、足し算引き算ができるようになった頃から渡しています。(笠松市 ずぼらママさん)
- お金がどのようにして得られるかを理解してもらうため渡しています。お手伝いなど、人の役に立つことで、本人の自信やよろこびにもつながっています。(可児市 Happyママさん)

- 子ども同士のトラブルが心配。(岐阜市 ひなママさん)
- 子どもから「おこづかい制にしてほしくない。お菓子、おもちゃをおこづかいでやりくりするのは嫌だ」と言われています。(岐阜市 ビーカンナツさん)
- 近くに子どもが一人で買いに行けるお店がないし、買う物もなさそうです。(岐阜市 さわおかれかめさん)
- できるだけルールのない環境がよいと思っているので渡していません。(岐阜市 ももさん)



Q. 1ヶ月のおこづかいはいくら?



Q. お年玉の行方は?

- 欲しいものを1つだけ買い、残りは貯金します。(御嵩町 ももちよこさん)
- 子どもが欲しい分だけ渡して、残りは貯金。銀行で一緒に入金伝票を書いて子ども名義の通帳へ入れています。(羽島市 しょうちゃんママさん)
- 好きに使わせています。「お母さんの好きなものを買ってあげる」と言ってくれるので、まあいいかと思っています。(岐阜市 ニャーコさん)

ウチの子のお金の話

- 本が大好きな次男。おこづかいの範囲内で本を買うために古本屋を巡っています。(可児市 後藤さん)
- 私がおこづかい帳をつけて、残金を子どもに伝えていますが、前は「欲しい」とすぐごねていたのですが、今は「同じものがあるから必要ないか」と言えるようになりました。(大垣市 クローバーさん)
- おこづかいがたくさん手元にある時は、お手伝いをしてくれません。(岐阜市 和途さん)
- おこづかいを渡していなかったせいか、お釣りの計算が苦手なようです。消費税にふれる機会も、もっと早いほうがよかったかな。(大垣市 抹茶パフェさん)
- お祭りに行くと、すぐ使い切りせがむ下の子。使わずとっておく上の子。兄弟でも全く違います。(各務原市 ぐっぴ〜65さん)

巻頭特集

子どもがひとり立ちするまでに金銭管理ができるよう「お金」について親子で考えてみませんか

お金の役割や大切さを、子どもにどのように伝えていきますか? 「教え方が分からない」「おこづかいでお金の管理能力が身に付く?」「いくら渡せばいいのかしら?」悩みは多いのに、なかなか聞けないお金の話。今回は、LPAの会のみなさんにおこづかいによる金銭教育のコツや、親子で楽しく学べる「おこづかいゲーム」について教えていただきました。

